2009年7月1日現在

取扱説明書

ディグメサ社液体用流量センサ

（ＦＨ・ＦＨＫ・ＦＭ・ＦＦＢ・ＦＦＧ・ＥＰＩシリーズ）

１．概　要

ディグメサ社の液体用流量センサは、ごく少量の液体から正確に計測することができ、流量調節や混合装置への組込みに適しています。内部ロータ部にはマグネットがモールドされています。ロータの回転数を電気回路部の磁気センサで検出しパルス信号を出力します。

２．配　線

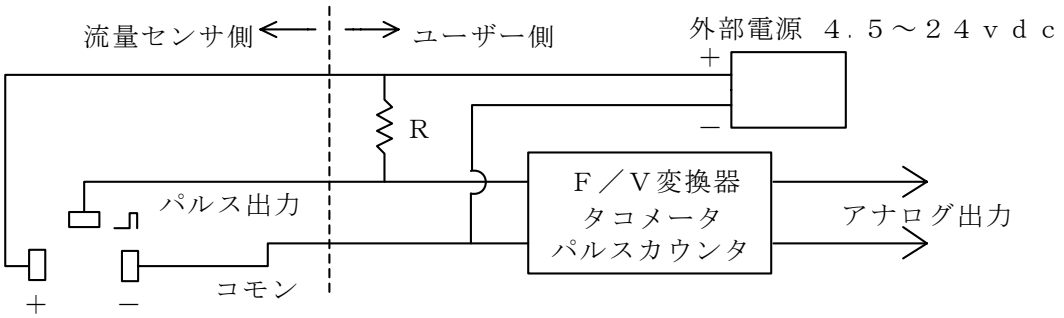
１）接続

センサ本体のターミナルに直接ハンダ付けするか専用コネクタをご使用下さい。

ＦＨ・ＦＨＫ・ＦＦＢ・ＦＦＧ・ＥＰＩシリーズには専用コネクタが付属されます。

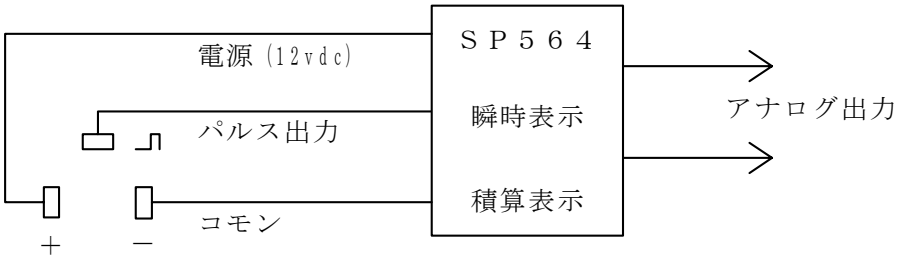
２）配線方法

＜市販電源と変換器・カウンターとの組合せ配線例＞



※流量センサの出力は、NPNオープンコレクタになっています。電圧パルス入力タイプの変換器等に接続される時には　Ｒ（プルアップ抵抗）を付けて下さい。この場合変換器の入力仕様を確認してから抵抗値を決めて下さい。通常時は、数ｍＡ程度電流が流れるようにＲの抵抗値を決めて下さい。

＜流量表示器ＳＰ５６４との組合せ配線例＞



３．注意事項

１）シールテープの切れ端・ゴミ・錆などがセンサ内に混入しないよう注意して下さい。

２）鋼管で配管される場合、流量センサ本体に過大なトルクや力が加わらないようにして下さい。ＦＨＫ・ＦＭ・ＦＦＧ・ＥＰＩシリーズの本体材質は樹脂製のため注意が必要です。

３）流量センサの配管ネジに適合する相手側継手をご使用下さい。ネジ規格が違う継手を使用すると、ネジの損傷やリークの原因となります。

４）センサの入口側には固定ノズルがあります。特に、少流量レンジで使用される際にはノズル径が細いためゴミ等が混入し目詰まりを起こす可能性があります。

５）使用できる流体の粘度はセンサの型式に異なりますので、型式をご確認下さい。

６）乾燥や洗浄目的で、気体でのパージは行なわないで下さい。ロータが高速回転となり摩擦熱が発生し、ロータやロータ軸が損傷する可能性があります。

７）近くに磁気や電気ノイズ発生源があると誤動作する可能性があります。発生源からできるだけ離し、影響の出ない場所でご使用下さい。

８）センサの磁気ロータに影響を与える磁性流体の測定はできません。

９）流体に気泡が混入する場合には正確な測定を行なうことはできません。

１０）流量センサの接液部材質（ボディ・Ｏ－リング・ロータシャフト）に適合する液体をご使用下さい。材質は型式により異なります。（型式仕様参照）

４．クリーニング

流量センサ内部に、ゴミや固形物が付着した場合、本体上部ネジを取り外してクリーニングを行って下さい。クリーニングの後、ロータ、ロータ軸を正しく元の位置に戻して再びねじ込んで下さい。ＦＦＢ・ＦＦＧシリーズでは工具を使わずに取り外すことができます。

その他、使用上の問題等については、弊社または販売代理店までお問い合わせ下さい。

ディグメサ社（スイス）輸入代理店
株式会社 サヤマトレーディング
〒114-0001　東京都北区東十条 6-10-12
TEL:(03)3903-2181　FAX:(03)3903-0123
e-mail:sales-team@sayama.com
http://www.sayama.com/